

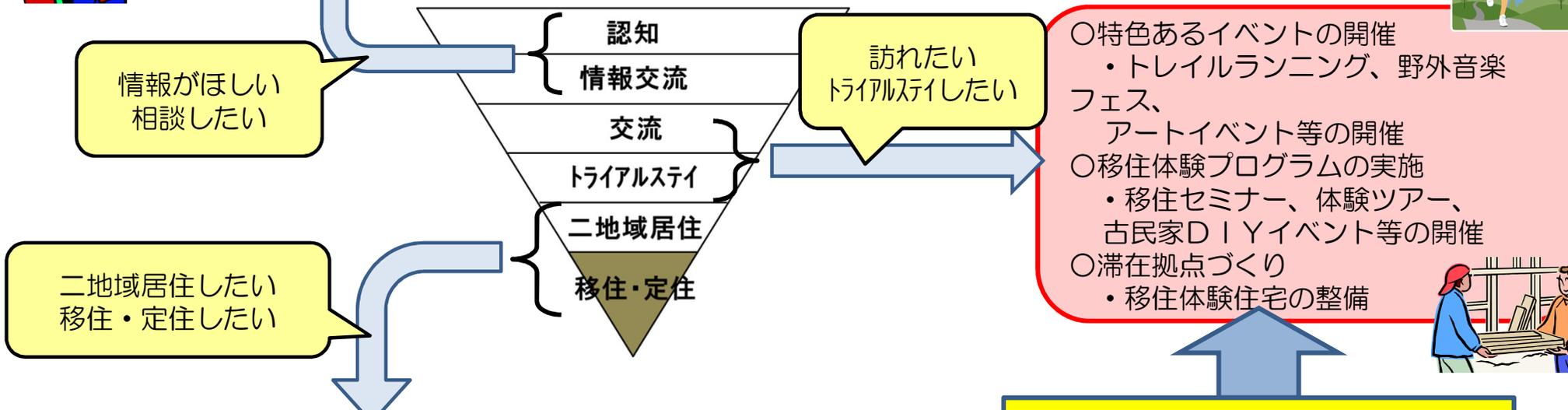
# ① 二地域居住・移住推進プロジェクト

移住体験や二地域居住に必要な仕組みや施設を整備して、南部東部地域で暮らす人を増やします。

- 移住情報の発信
  - ・ホームページの充実、パンフレットやジャーナルの発行
- 移住相談の整備
  - ・ワンストップ窓口（県、市町村）の強化
  - ・広域連携団体「(仮称)奥大和移住・定住連携協議会」の設立
  - ・移住コンシェルジュの設置（東京まほろば館）



## 移住促進の流れ



## ② 買い物等の支援

地域住民の日常の買い物や通院などの拠点や足を確保するため、住民団体やNPO、民間企業など多様な主体との連携による取組を推進します。

### 1. 現状の把握

○食料品や日用品等の調達状況を調査（住民の方々の買物方法、固定店舗や移動販売の営業状況等）



○食料品を販売している店は1～4軒、多くの住民は村外のスーパー等で調達されており、店舗誘致や移動販売確保、宅配等へのニーズが高い

### 調査結果の反映

### 2. 支援方法の検討・実施

①固定店舗の維持・確保



「現在の取組状況」  
○地元スーパー等との連携による店舗づくりの検討  
・取扱商品の店頭販売  
・宅配業務の部分実施  
・地域農産物等の販路拡大支援  
など、地域ニーズに応じた複数の機能を有する店舗を検討

②移動販売の維持・確保



「現在の取組状況」  
○実施事業者への支援手法の検討

③買い物バス等の運行



「現在の取組状況」  
○地域NPOによるコミュニティビジネス（下北山村）  
・過疎地有償運送（買い物や通院で運行）  
・地元野菜等の販売（土曜朝市の開催）  
などに着手

連携による  
効果的な支援



## ④ 新南和公立病院の整備 ～南和の医療は南和で守る～

南和地域の3つの公立病院を、救急医療を中心に担う1つの病院（南和広域医療組合 南奈良総合医療センター）と、療養期を中心に担う2つの病院（南和広域医療組合 吉野病院、南和広域医療組合 五條病院）に役割を分担して、新しい組み合わせの3つの病院に再編整備します。

### 救急医療を中心に担う病院の整備



▲南和広域医療組合 南奈良総合医療センター  
大淀町福神地内に新設  
平成28年7月オープン予定  
【概要】

病床規模	主な施設基準・医療設備
<p><b>232床</b> HCU：8床 一般：188床 ※47床×4病棟 回復期：36床</p>	<p>救急告示病院（二次救急） 地域医療支援病院 地域がん診療病院（新設） 地域災害拠点病院 へき地医療拠点病院 第二種感染症指定病院 など</p>

### 療養期を中心に担う病院の整備



◀南和広域医療組合 吉野病院  
（国保吉野病院を改修）

平成28年7月  
リニューアルオープン予定



◀南和広域医療組合 五條病院  
（県立五條病院を改修）

平成29年6月  
リニューアルオープン予定

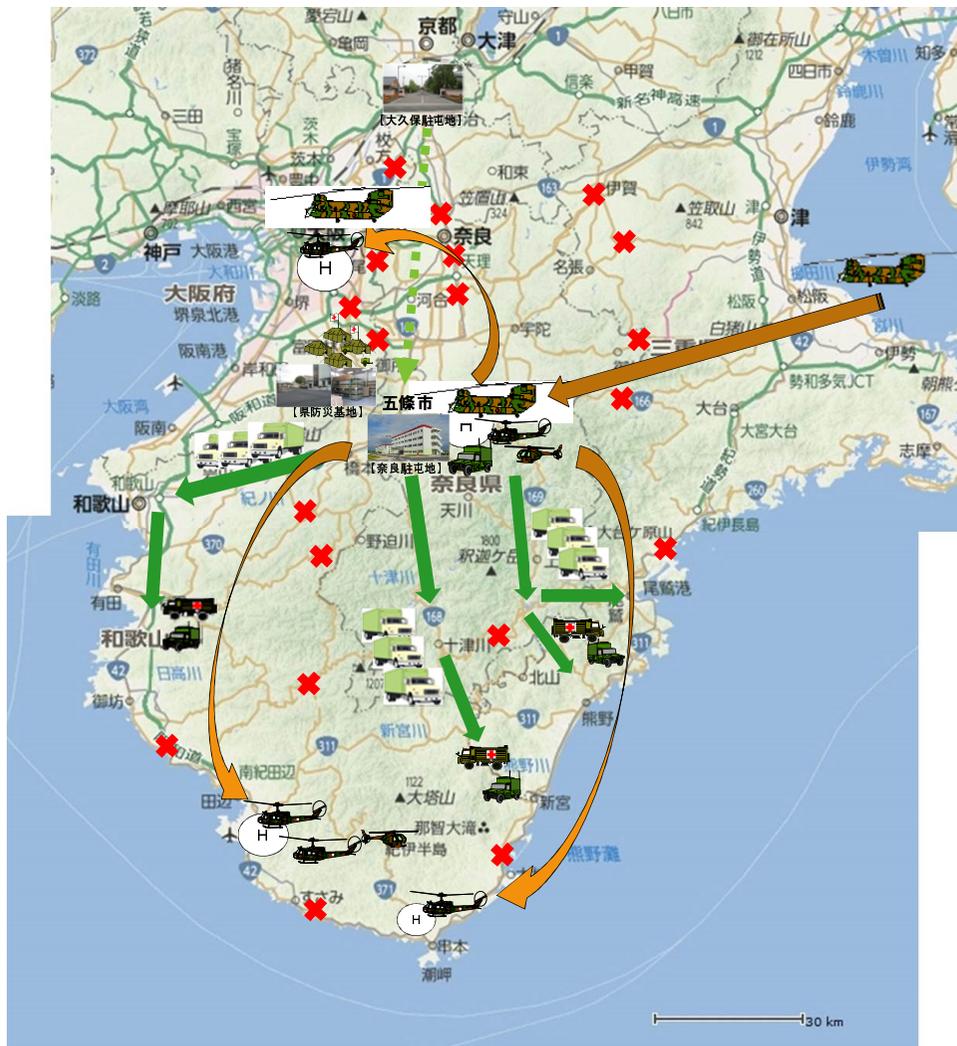
#### 【概要】

- 病床規模  
180床(90床×2施設)
- 診療科  
身近な外来機能(内科・整形外科)

## ⑤ 防災拠点の整備 ～陸上自衛隊駐屯地の誘致など～

陸上自衛隊駐屯地の誘致と併せて県防災拠点（基地）を整備し、県南部地域の大規模災害のみならず、南海トラフ巨大地震等発生時の紀伊半島沿岸部への救援活動も可能にします。

### 大規模災害時の救援のイメージ



### I 奈良県は全国で陸上自衛隊が唯一ない県

- ① 大規模災害等により県内全体が被災した場合、**京都府南部の大久保駐屯地**からの派遣では道路網の寸断等により、**県南部地域への派遣には相当な時間を要し、人命救助等の即座の対応が困難**
- ② 身近に陸上自衛隊駐屯地等がないことにより、自衛隊の具体的な活動への理解に乏しく、東日本大震災・紀伊半島大水害以前は協力気運もやや低調  
⇒ 《一例》：全国で3番目に自衛官採用人員が少ない県（H25年10月末現在）  
『北海道：33,530人、福岡県：12,014人、・・・、奈良県：1,033人、富山県：1,021人、山梨県：946人』

### II 国土強靱化（南海トラフ巨大地震等）対応のため、紀伊半島の中央に位置し、津波被害のない奈良県に陸上自衛隊駐屯地が是非必要

- ① 奈良県は紀伊半島中央部に位置し、周囲を大阪府・京都府・和歌山県・三重県に囲まれた**海のない内陸県**で津波被害等がなく、駐屯地が五條市付近にあれば、県防災拠点（基地）と連携し、**和歌山県・三重県・大阪府への後方支援拠点**としての機能が発揮が可能  
⇒ 応援部隊のベースキャンプ、救援物資の中継・分配、**ヘリポート機能**等
- ② 奈良県内五條市付近に陸上自衛隊の部隊が駐屯していれば、被災時にR168及びR169を迅速に道路啓開して、**和歌山県・三重県への救援ルート**を確保
- ③ 奈良県内の駐屯地を自衛隊の活動拠点として位置付け、**陸上自衛隊他方面隊等からの応援部隊の受入れ**及び和歌山県・大阪府等への支援が可能

### III ヘリポートを併設した駐屯地により、大規模災害時などに迅速な自衛隊部隊等の展開が可能

- ① 駐屯地に併設したヘリポートがあれば、大規模災害等発生時に救命救助及び孤立集落等への救援のため、**迅速な自衛隊部隊等の展開が可能**
  - ② ヘリポートを併設した駐屯地と県防災拠点（基地）が連携することにより、県南部地域の災害のみならず、南海トラフ巨大地震等発生時の紀伊半島沿岸部への救援に際しても、「**紀伊半島アンカールート**」の整備と相俟って、迅速な支援等が可能
  - ③ ヘリポートは、ヘリコプターの実際的な訓練の場としても活用が可能
- ※ 自衛隊誘致や防災拠点の整備と併せて、県消防学校の移転整備も行う。

## ⑥-1 農産物等生産拡大・ブランド化プロジェクト

地域の気候や地形を活かして生産されている農産物の生産及び流通の拡大とブランド化、新たな加工品開発による利用拡大、及び農地のより一層の活用を推進します。

### 【生産の強化プロジェクト】

- ◇大和まな、大和寒熟ほうれん草など大和野菜
  - ・生産拡大による首都圏への供給拡大
- ◇柿（五條市、御所市、下市町）
  - ・特徴のある品種の導入及び新品種の育成
  - ・「柿の葉寿司」用の柿葉生産拡大
  - ・改植や園地改良等の推進
- ◇ダリア球根と切り花（宇陀市、山添村）
  - ・優良品質の球根、苗、切り花生産体制確立
- ◇切り枝花木（ハナモモ、サクラ、クマザサ、チョウセンマキ）（五條市）
  - ・高品質安定生産技術の開発と導入
- ◇特色ある地域農産物（白キュウリ（黒滝村）、ワサビ（野迫川村）、高菜、キノコ（十津川村）、下北春まな（下北山村）、ユズ（東吉野村））
  - ・遊休農地等を活用した生産拡大、地域の高齢者や移住者など多様な担い手による生産拡大



### 【ブランド化プロジェクト】

- 品質によるブランド認証制度の創設・運営
- 高品質・付加価値化によるブランド化に向けた生産推進
  - ◇柿
    - ・大玉・高品質果実生産対策（間伐等）
  - ◇茶（山添村、大淀町）
    - ・高品質茶生産の定着（かぶせ茶、てん茶）
  - ◇有機野菜（宇陀市等）
    - ・環境にやさしい農業シンボルマークのPR活動強化
    - ・品質の高位平準化を目指す技術向上現地研修会開催



### 【新たな食品・加工品開発プロジェクト】

- 6次産業化の推進
  - ・農業者及び多様な業種が連携して行う新たな加工品の開発や販路拡大の取組への支援
- ◇柿
  - ・糖蜜漬け、大玉干し柿等の開発
  - ・柿渋、柿葉の食品加工への利用促進
- ◇大和野菜
  - ・機能性評価と機能性を活かした新商品の開発
- ◇特色ある地域農産物
  - ・ジャムやスイーツ、麺類など付加価値の高い加工食品の開発



### 【流通販売の強化プロジェクト】

- 首都圏でのプロモーション活動
  - ・トップセールス、県産食材レストラン、観光物産展等
- 輸出の拡大（柿・茶）
- 【産地直送プロジェクト】：域内消費の拡大
  - ・眺望のいいレストランの認定・支援
  - ・道の駅や農産物直売所、朝市等での販売支援
  - ・ならコープとの連携
  - ・学校給食への供給推進



○都市部の店舗で販売・PR  
（キッチンカーも利用）

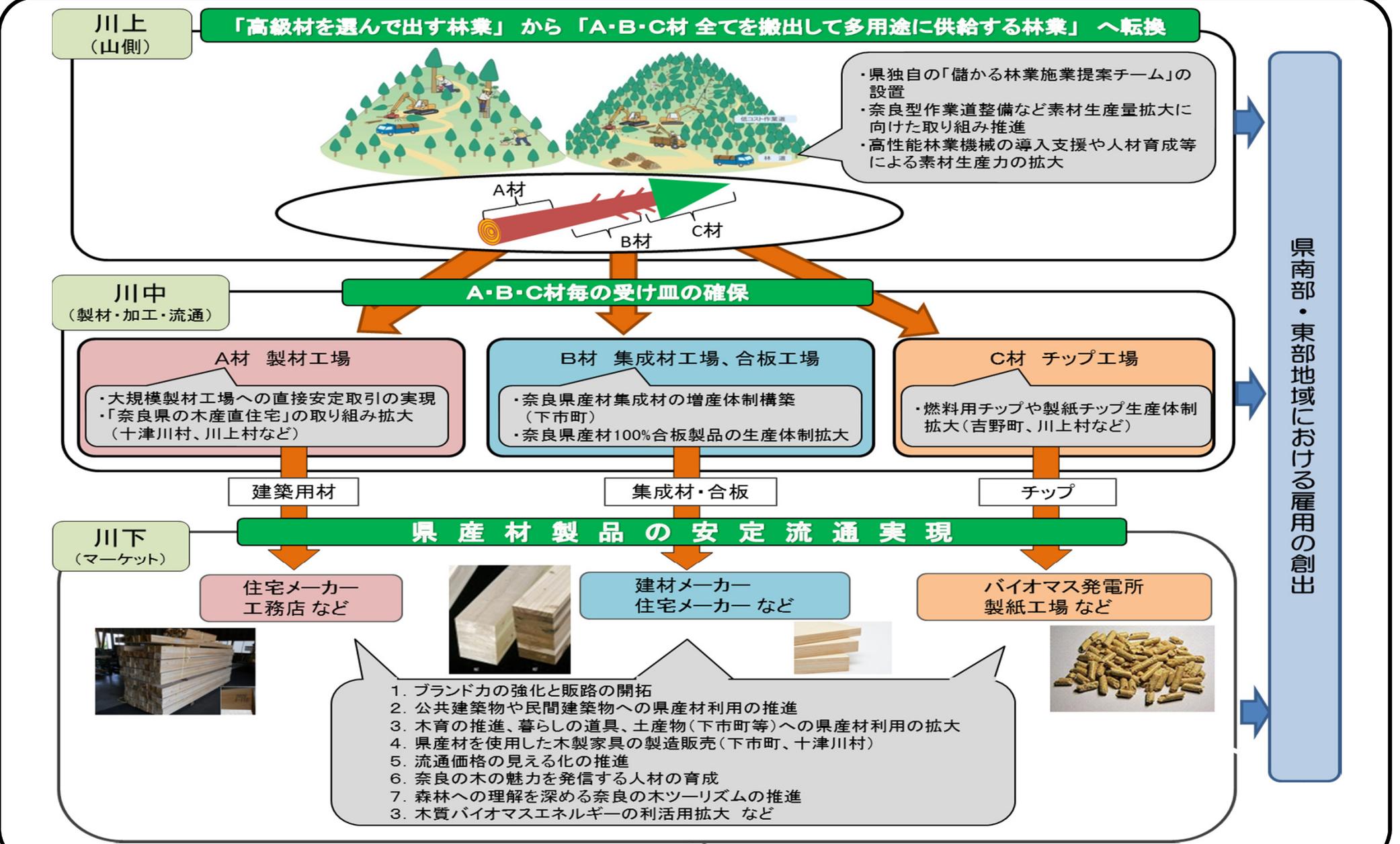


### 【農地活用プロジェクト】

- 県域での農地マネジメントによる産業興し
  - ・南部地域を中心とした市町村と県とで協定を締結し、農業の担い手の育成、農業ビジネスの展開
  - ・本県に立地した企業等の南部地域での農地の活用（農業参入）を支援など

# ⑥-2 「A・B・C材全てを出して使う」プロジェクト

○「高級材を選んで出す林業」から「A・B・C材全てを搬出して多用途に供給する林業」へ転換します。  
 ○A・B・C材毎の受け皿の確保と製品の安定流通を実現する木材産業を構築します。



# ⑥-3 漢方のメッカ推進プロジェクト

南部東部地域の重要な地域特産物である薬草の産地育成や薬草を活用した漢方関連製品の創出など栽培から加工・製品化までの取組により漢方の産業化を図り、南部東部地域を中心とした地域の活性化を推進する。

## ◇漢方のメッカ推進の取組（案）

### 漢方の産業化

産地育成

生薬原料の  
ブランド化

流通機能の  
強化

漢方関連製  
品の開発

漢方関連市  
場の拡大

県民への  
普及

#### ステージ1 生薬の生産拡大 (川上)

- 薬用作物の安定供給に係る研究**
  - ゲノム育種による優良品種の育成
  - 省力化技術、安定多収技術の開発
- トウキ葉の安定生産技術の開発**
  - 簡易ネットによる栽培法の研究
  - 葉と根の安定生産技術の開発
  - 植物工場におけるトウキ葉生産技術の開発
- 薬草栽培に関わる人材育成・確保**
  - 薬用作物栽培指導者の育成

#### ステージ3 漢方薬等の研究・臨床

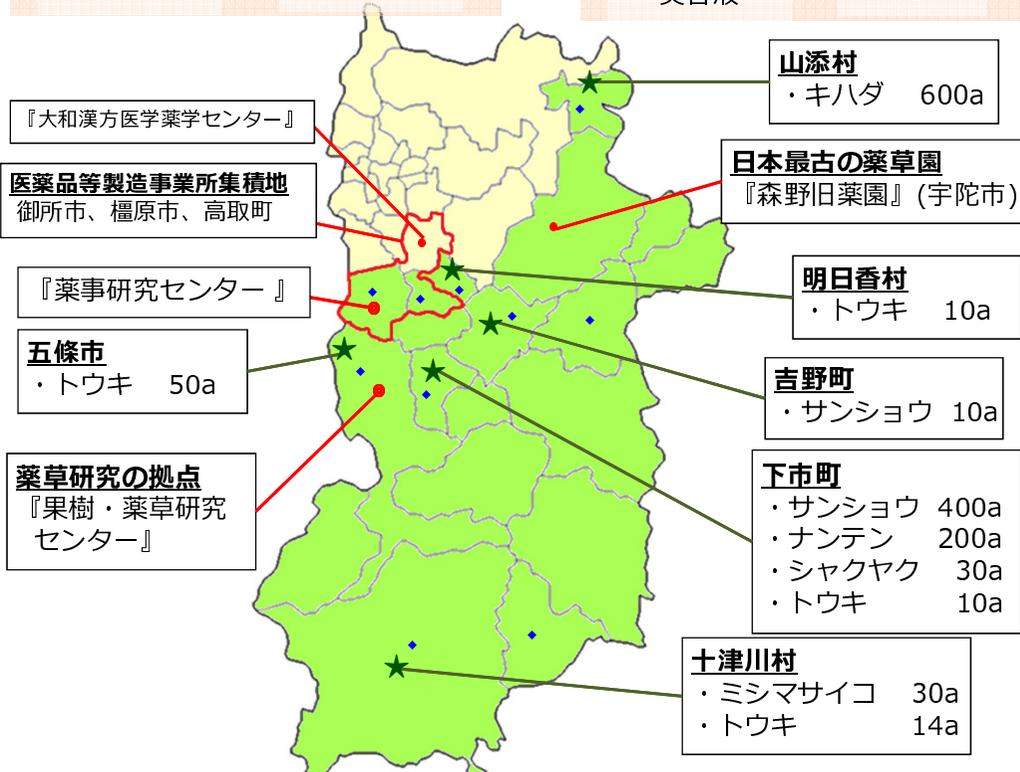
- 大和の生薬の薬効研究**
  - トウキ根単体利用のための研究
  - トウキ根と葉の薬効成分の分析  
(大和トウキブランド化のための評価指標、基準の選定)
- トウキ葉の安全性確認**
  - トウキ葉の急性毒性試験等
- 大和漢方医学薬学センターの運営**  
(県立医科大学)  
漢方外来の実施、漢方講座・セミナーの開催、漢方研究の学内公募

#### ステージ2 漢方薬等の製造 (川下)

- 川上川下のマッチング**
  - 薬草を利用した商品開発の意向調査
  - 薬草生産農家と国産の薬草を求める企業とのマッチング
- 薬草を活用した商品開発の推進**
  - トウキ葉の成分分析、加工技術の研究
  - トウキ葉活用コンソーシアムの設置
- キハダ活用事前調査**
  - キハダの県内分布・植林可能地調査
  - キハダ地産地消システム構築検討

#### ステージ4 漢方の普及

- 漢方のメッカプロモーション**
  - 漢方のメッカPR
    - 漢方に関する取組等の情報発信
  - 漢方のゆかり再発見
    - 薬のゆかりを巡るツアー等の企画
    - 漢方専門医等との漢方宿泊体験
    - 道の駅における漢方関連商品のPR
- 漢方薬シンポジウム、薬剤師向け研修会**



(注1) ◆ は平成24年薬用作物栽培実績のある市町村(奈良県調べ)  
(注2) ★ は上記市町村のうち、栽培面積が10a以上の薬用作物について記載  
(注3) 医薬品等製造事業所集積地は、事業所数上位3市町村(H25.3時点)を記載

## ⑦ 企業誘致の推進

地域に雇用を生み出す企業の誘致を推進します。

### 企業誘致に向けた取り組み

#### ○御所IC付近の産業集積地の形成 (御所市)

- ・中南和振興のための、御所IC周辺における産業集積地を確保

#### ○五條北IC付近の企業用地の活用 (五條市・大淀町)

- ・五條北IC近くに位置する分譲用地を活用して、南部地域への雇用を確保



- 中南和地域からの通勤圏内にある御所IC周辺に産業用地を造成、補助金等の支援制度を活用した企業の誘致により、産業振興の強化と安定した就業の場を確保
- 中南和で自立的な地域経済構造を創ることにより、若年層を中心とした人口流出の阻止、U I ターンを促進